

<p>【技術の名称】 大和式方杖補強型梁段差柱梁接合法</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第19-16号 性能証明発効日：2019年12月27日</p> <p>【取得者】 大和ハウス工業株式会社</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、梁段差を有する鉄骨造の柱梁接合部を対象に、内ダイアフラムを省略し、段差部に設けた方杖材およびリブにより梁端接合部の補強を行い、所定の耐力および変形まで方杖材が座屈、破断することなく、接合部が早期に耐力劣化しない工法である。

【技術開発の趣旨】

本技術は、梁段差部において梁に塑性ヒンジが生じ十分な変形性能を発揮するまで、柱フランジの面外曲げ変形および方杖材の曲げ座屈、破断による耐力低下の発生しない条件式を与え、安定した復元力特性と変形性能を有していることを実験・解析により確認したものである。梁段差部においては、様々な梁端補強方法が存在するが、降伏線理論に基づく柱フランジの面外曲げ耐力、および鋼構造限界状態設計指針に基づく方杖材の曲げ座屈耐力により梁耐力に抵抗する補強方法について一般化されたものはなく本工法独自のものである。本技術は、これらを通して梁段差部の方杖材による補強効果について検証した工法であり、申込者の独自工法として開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「大和式方杖補強型梁段差柱梁接合法 設計製作施工指針」に従って設計・製作・施工された鉄骨梁は、以下の性能を有する。

- (1) 梁端接合部は、保有耐力接合かつ剛接合として扱うことができる。
- (2) 梁端の降伏耐力および全塑性耐力は、H形鋼梁の全断面を考慮して扱うことができる。

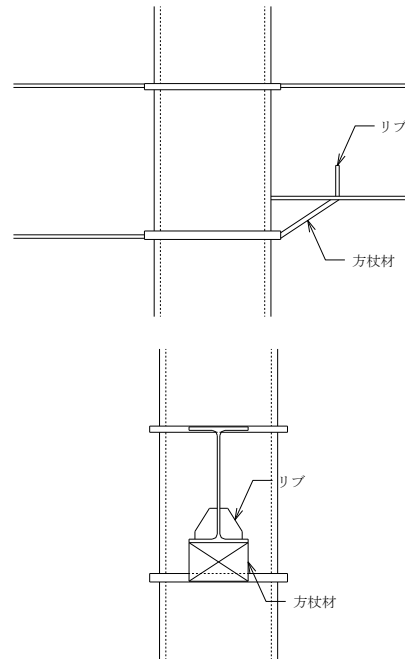


図1 概要図

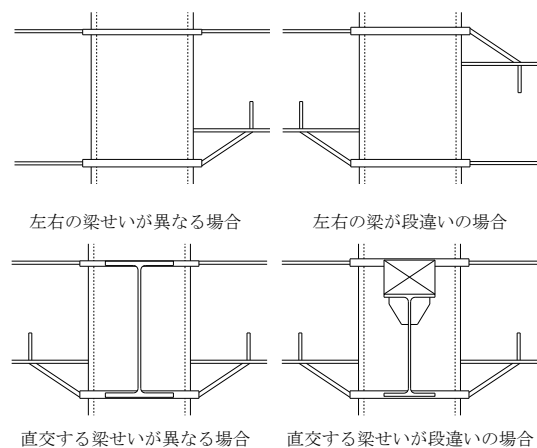


図2 梁段差の組合せ例

【本技術の問合せ先】

大和ハウス工業株式会社 担当者：西 拓馬
 〒631-0801 奈良県奈良市左京六丁目 6-2

E-mail：m.306924@daiwahouse.jp
 TEL：0742-70-2143 FAX：0742-72-3063